



令和8年
ほんちょう保育園
保健室

7月の和名は「文月」。

七夕に願い事を短冊に書く、という風習が由来ではないかともいわれています。本来、短冊に書く内容は「織姫のように機織りが上手になりたい」といった、神様への願い事というよりは決意表明だったようです。今年の短冊にはどんなに小さな目標でも「自分でやるぞ！」決めたことを書いて挑戦してみませんか？

7月の予定



《園医健診》 医師の都合にて変更になる場合があります

たんぽぽ 14日(火)・28日(火) たけのこ 14日(火) くすみ 28日(火)

《身体計測》 保育上の都合により日程が変更することがあります

たんぽぽ(0歳児) 3日(金) たけのこ(1歳児) 6日(月) くすみ(2歳児) 8日(水)
まつぼっくり(3歳児) 1日(水) しいのみ(4歳児) 9日(木) くすのき(5歳児) 10日(金)

《視力検査》 くすのき組 7月3日(金) 10:00～

《尿検査 6月に未提出および検査が出来なかった人と二次検査(再検査)の人》

7月2日(木) 9:30までに提出をお願いいたします

上記日程以外に7月7日(火)・8月6日(木)にも提出できますが、二次検査(再検査)になる場合がありますので、できるだけ7月2日(木)に提出していただけますようご協力をお願いいたします。

容器は6月25日(木)に配布しました。

《感染症情報》



【保育園では】

○溶連菌感染症 14名 突発性発疹3名の報告がありました

＊保育園玄関入って左側に園内での感染症や熱等欠席の状況を掲示しています。発熱等で受診の際には園内で出ている感染症などをかかりつけ医にお伝えください。

【多摩小平保健所管内では】

○咽頭結膜熱・手足口病が流行しています。

＊感染症の予防の基本は、手洗いです。

食事前・排泄後(介助後)・外出後などご家族全員で手洗いをお願いします。

《熱中症防止のために》

不安定な天気が多く、朝晩の気温の変化が大きい今年の梅雨。梅雨の晴れ間に急に気温が上昇する日は暑さに体が慣れていないので熱中症になりやすくなります。さらに朝ご飯を食べずに登園することでも熱中症の危険度が増します。朝から元気がない。またお昼ご飯の時間になっても、

朝から排尿が全く見られないお子さまの報告もあります。

登園前には食事と共に水分摂取も合わせてお願いします。



【保健指導について】

くすのき(5歳児)「6歳臼歯と6歳臼歯の磨き方」

前歯の生え変わりはよくわかりますが、6歳臼歯は乳歯の一番後ろに生えてくるため、出てきていることに気づきにくい歯です。中には「歯が痛い」と伝えてきて、6歳臼歯が生えてきていることに気づくこともあります。

4個の奥歯の模型を見ながら6歳臼歯が生えてくる経過を見ました。自分の目で見るのが難しい6歳臼歯なので、じーっと模型を見てその6歳臼歯を磨くにはどのようにしたらよいのかグループごとに考えました。「歯ブラシを曲げる!」「歯ブラシを立てる!」様々な意見が出ていました。誰の意見も否定せず楽しく話し合っている姿が素敵でした。6歳臼歯が生えていないお子さんが多く、模型だけではイメージがつかないお子さんも多いかと思いますが、仕上げ磨きをしながら、6歳臼歯が出てきているかお子さんと話をしてみてください。

奥歯と6歳臼歯の模型



歯の模型を展示食置き場の最下段に設置しています。お子様と一緒にご覧ください。乳児クラスの保護者の皆様も是非ご覧ください

しいのみ(4歳児)「前歯と奥歯の役割を知る」

今回は前歯と奥歯の模型を使い、前歯でかじった時と奥歯でよく噛んだ時のおせんべいの大きさを見比べて、奥歯でよく噛んで食べ物を小さくして食べましょうというお話をしました。どのお子さんも真剣に聞いてくれました。給食の食パンはみんなで「あぐっと」噛み切って、パンに半円形の歯型をつけながら上手に食べました。

前歯で食べ物を食い取る(かじる)ことが出来ないお子さんを多く見かけます。

前歯は「食べ物を口の中に取り込む入口」の役割をしています。この前歯をしっかりと使ってかじることの効果は

- 噛み切る→舌で送る→奥歯でつぶす→飲み込むという一連の動作がスムーズに育つ
- 唇・舌・ほっぺの筋肉がバランスよく発達する
- 丸飲みや吸い食べ(ちゅーっと吸い込むクセ)を防げる ●歯並びや発音の土台になる

「かじる」という動きは、目・手・口・脳が連携するとても高度な“協調運動”です。かじる経験を重ねることで、食べこぼしが減ったり、咀嚼や飲み込みが安定していきます。

ご家庭では、バナナやスティック野菜(にんじん・大根など)、→手で持てるサイズで少し大きめに切ると、かじる練習にぴったりです。離乳食から取り入れることができます。

少し大きめのおにぎりを食い取ることも前歯を使う練習になります。親子で一緒に“食べ方”を楽しみながら、前歯使っているかな?お子様の食べ方少し覗いてみてください。完璧じゃなくて大丈夫。一口かじれたら、それだけでも素晴らしい成長です

しっかりした仕上げみがきは、ご家庭で保護者の方をお願いします

子どもはブラーク(細菌の塊)を除去できるほど、手先を器用に動かすことはできず、子ども自身による歯みがきは、むし歯予防という観点からは十分ではありません。小学校3年生くらいまでは、保護者の方による仕上げみがきが必要です。4歳・5歳児では、前歯や6歳臼歯などの永久歯が生えてきます。一番奥の6歳臼歯は、子どもだけでは磨き残しが多い歯なので、ご家庭での仕上げみがきの際にその部分も意識して磨いてみて下さい。親子のコミュニケーション、お子様の歯の状態の確認の為に夜就寝前の歯みがき時には、保護者の方の仕上げみがきをお願いします。

【虫よけについて】

虫に刺されやすい人、刺されると腫れがひどくなる人など必要な人は、朝ご家庭でお子さまにあった虫よけを使用してから登園をお願いします。その際虫よけパッチ等のシールタイプの虫よけの使用はお控えください。はがれて落ちてしまった場合、小さなお子さんは何でも口に入れてしまう危険性があります。夕方に園庭で遊ぶ場合や河原や草の多い場所に行く場合は保育園で虫よけを使用することがあります。園で使用する虫よけはイカリジン成分配合のスプレータイプの物です。肌に合わない等使用を控える必要のある方はクラス担任までお声掛けください

虫よけは虫(蚊)にまったく刺されなくするものではなく、刺されにくくするものです。

虫(蚊)に刺されない保証はありません。

